

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部						
4-③	工業を振興する	産業振興部						
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	計画策定時	実績値				31年度目標値	進捗状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
中小企業（製造業）の事業拡大に伴う設備投資に対する助成件数（累計）	件	6	8	8	10	13	16	B
工場の新規立地や増築に対する助成件数（累計）	件	10	15	18	22	25	31	C
関連事業								
○企業立地等促進事業○テクノフェア推進事業○産学公共同研究支援事業○波力発電関連分野での新産業創出促進事業								
決算額								
	28年度	29年度	30年度	31年度				
事業費（千円）	104,108	94,048	86,709					
執行率（%）	89.29	81.62	72.52					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
<ul style="list-style-type: none"> 企業の立地や増築等に対する施設整備への助成と合わせて、市内在住者の新規雇用や土地取得による事業拡大を促進するとともに、中小企業の設備投資に助成したほか、湘南ひらつかテクノフェアを毎年開催し、販路の拡大や企業間等の交流、商取引を促進しました。 新商品開発や技術開発に関する市内企業と大学との共同研究に対し、費用の一部を補助し、中小企業の技術力向上を支援するとともに、波力発電関連分野での新産業創出促進事業を東京大学生産技術研究所へ委託し、平塚海洋エネルギー研究会の活動を推進した結果、環境省の事業に東京大学生産技術研究所が採択され、平塚波力発電所の実証事業がスタートしました。 								

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・ 経済情勢の変化や事業者のニーズを的確に捉えたうえで、利用しやすい補助制度や、マッチングの機会を創出する必要があります。
- ⇒ 企業立地等促進補助金等の各種補助制度については、利用状況等を踏まえたうえで、事業者が利用しやすい補助制度となるよう、必要に応じた見直しをします。また、関係機関と連携して開催するビジネスマッチングイベントでは、来場者の増加につながるような新たな企画の創出を支援します。
- ・ 産学連携の補助制度の利用件数が伸び悩んでいることから、中小企業等の産学連携の理解を深める取り組みを進める必要があります。また、波力発電に係るこれまでの取組で得られた知識や技術を他の分野で活用する必要があります。
- ⇒ 中小企業等のニーズや大学等のシーズを把握するとともに、情報交換の機会を充実させ、産学の連携を推進します。また、波力発電に係る技術課題や波力発電装置をシーズとした新産業創出のスキームを研究し、新しいしごとのタネを創出します。

